

平成26年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成25年8月9日

上場会社名 児玉化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4222

URL http://kodama-chemical.co.ip/

代表者 (役職名)代表取締役社長問合せ先責任者(役職名)経理部長 (氏名) 石井 健 (氏名) 斉木 均

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

TEL 03-3279-4900

	売上高		売上高 営業利益		山益	経常和	J益	四半期紅	植利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
26年3月期第1四半期	5,820	25.0	149	28.8	147	81.8	50	50.8	
25年3月期第1四半期	4,655	15.8	116	168.3	81	404.8	33	_	

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 411百万円 (72.5%) 25年3月期第1四半期 238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	1.70	_
25年3月期第1四半期	1.13	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	20,184	2,645	10.1	68.02
25年3月期	18,319	2,250	9.5	57.85

(参考) 自己資本

26年3月期第1四半期 2,034百万円 25年3月期 1,731百万円

2 配当の共況

<u> </u>								
	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
25年3月期	_	_	_	0.00	0.00			
26年3月期	_							
26年3月期(予想)		_		0.00	0.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日~平成26年 3月31日)

(%表示け 通期付款前期 四半期付款前年同四半期偿減率)

(70亿小区、运剂区对前剂、臼干剂区对前平问臼干剂组织平									刊午问64一份41%平/
	売上	高	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	9,500	1.9	300	40.8	200	20.5	100	50.6	3.33
通期	21,000	△0.7	800	58.9	600	30.4	300	47.8	10.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 有 ③ 会計上の見積りの変更 : 有 ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更·会計上の見積りの変更·修正再表示をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	30,154,411 株	25年3月期	30,154,411 株
26年3月期1Q	246,825 株	25年3月期	227,471 株
26年3月期1Q	29,911,273 株	25年3月期1Q	29,983,654 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期報告書の開示時点において、金融商品取引法に基づく四 半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業 績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当	i四半期決算に関する定性的情報P.	2
(1)	経営成績に関する説明P.	2
(2)	財政状態に関する説明P.	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明P.	3
2. サ	マリー情報(注記事項)に関する事項P.	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動P.	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用P.	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示P.	4
3. 継	と続企業の前提に関する重要事象等P.	4
4. 匹]半期連結財務諸表P.	5
(1)	四半期連結貸借対照表 ·····P.	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ·····P.	7
	四半期連結損益計算書 ·····P.	7
	四半期連結包括利益計算書 ·····P.	8
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項P.	9
	(継続企業の前提に関する注記) P.	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) P.	9
	(セグメント情報等) P.	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や金融緩和等の各種政策による 経済成長への期待感から景況感は改善されつつありますが、欧州債務問題の長期化や新興国経済の減速 等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、国内に於いては景気の刺激策により自動車産業は好調に推移するとともに、復興需要に係る住宅着工件数も徐々に増加し回復傾向を示しております。又海外ではタイをはじめとするアジア地域の好調な需要が継続しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,820百万円(前年同四半期比25.0%増)と増収となり、利益面では、引き続き経営資源の集中化並びに徹底したコスト削減及び数量増の影響から営業利益は149百万円(前年同四半期比28.8%増)、経常利益は147百万円(前年同四半期比81.8%増)、四半期純利益は50百万円(前年同四半期比50.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

従来報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計期間にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより量的な重要性が減少したため、当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて算定しております。

① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、国内では景気の刺激策により自動車産業が好調を維持し当社の 売上高も順調に推移しました。タイの連結子会社では、ASEAN地域の好調な需要に支えられて 売上高は増収となりました。

この結果、売上高は3,571百万円(前年同四半期比33.5%増)、セグメント利益は210百万円(前年同半期比68.3%増)となりました。

② 住宅設備·冷機部品事業

住宅設備事業におきましては、新設住宅及び住宅改修需要は増加しており、また2014年度の消費 税率引き上げ前の需要増等が下支えとなり本年の新築住宅着工見込戸数は昨年を上回る環境下にあ りますが、一方で原材料価格の上昇もあり若干の減益となりました。引き続きマーケットに対応し た徹底した合理化を継続して増益に結びつけます。

冷機部品事業におきましては、特にタイの連結子会社では、タイ洪水の被害を受けた顧客の受注 は減少しましたが、新規顧客の獲得等により、堅調に推移しております。

この結果、売上高は1,853百万円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント利益は139百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。

③ エンターテイメント事業

エンターテイメント事業におきましては、需要の回復からエンターテイメント関係等の売上高が 増加いたしました。

この結果、売上高は212百万円(前年同四半期比85.2%増)、セグメント損失は5百万円(前年同四半期はセグメント損失6百万円) となりました。

④ その他

その他事業におきましては、田植え機の新機種量産に伴い大幅に売上増となりました。

この結果、売上高は182百万円(前年同四半期比17.7%増)、セグメント利益は4百万円(前年同四半期はセグメント損失9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,864百万円の増加となりました。

資産では、流動資産が現金及び預金の増加等により1,223百万円増加し、固定資産が機械装置及び運搬具の増加等で640百万円増加しました。

負債では、流動負債が短期借入金の増加等により1,533百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少等により63百万円減少しました。

純資産では、為替換算調整勘定の増加等により394百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成25年5月15日公表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社は、商品、原材料及び貯蔵品を最終仕入原価法による原価法としておりましたが、当連結会計年 度より総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更は、当社のたな卸資産管理強化の一環として、たな卸資産評価方法の統一を図り、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的としております。

当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

この変更は、定額法を採用している海外子会社の重要性が増し国内外のコスト管理レベルを統一する 必要性を背景に、固定資産を長期安定的に使用していく見通しであるという点を考慮した結果、減価償 却費を均等配分することが適切であると判断したためです。

なお、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,907千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	742, 040	1, 158, 361
受取手形及び売掛金	5, 893, 030	6, 189, 618
商品及び製品	533, 446	655, 588
仕掛品	265, 183	296, 626
原材料及び貯蔵品	1, 071, 038	1, 312, 503
その他	608, 390	725, 169
貸倒引当金	△26, 142	△26, 883
流動資産合計	9, 086, 987	10, 310, 984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5, 052, 658	5, 184, 919
減価償却累計額及び減損損失累計額	$\triangle 2, 403, 597$	$\triangle 2, 482, 010$
建物及び構築物(純額)	2, 649, 061	2, 702, 903
機械装置及び運搬具	6, 611, 296	6, 973, 947
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4, 845, 488	$\triangle 5,031,279$
機械装置及び運搬具(純額)	1, 765, 808	1, 942, 66
土地	2, 866, 536	2, 937, 14
その他	2, 334, 451	2, 627, 069
減価償却累計額及び減損損失累計額	$\triangle 1, 392, 523$	$\triangle 1, 465, 862$
その他(純額)	941, 928	1, 161, 207
有形固定資産合計	8, 223, 334	8, 743, 919
無形固定資産	, ,	· · ·
その他	192, 108	201, 93
無形固定資産合計	192, 108	201, 93'
投資その他の資産	102, 100	201,00
び貝とい他の貝座 その他	1,009,626	1, 118, 856
貸倒引当金	$\triangle 192,409$	$\triangle 191,072$
投資その他の資産合計	817, 217	927, 784
		<u> </u>
固定資産合計	9, 232, 660	9, 873, 641
資産合計	18, 319, 647	20, 184, 625

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4, 446, 284	4, 806, 012
短期借入金	4, 654, 505	5, 670, 457
未払法人税等	65, 492	85, 408
賞与引当金	233	51, 798
その他	1, 222, 019	1, 308, 250
流動負債合計	10, 388, 534	11, 921, 926
固定負債		
長期借入金	5, 031, 904	4, 904, 943
退職給付引当金	264, 127	255, 244
役員退職慰労引当金	40, 550	42, 960
環境対策引当金	5, 649	5, 649
関係会社整理損失引当金	55, 000	55,000
その他	283, 095	353, 323
固定負債合計	5, 680, 326	5, 617, 119
負債合計	16, 068, 860	17, 539, 046
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 021, 032	3, 021, 032
資本剰余金	1, 017, 451	1, 017, 451
利益剰余金	$\triangle 2,097,982$	$\triangle 2,046,988$
自己株式	△21, 259	△23, 165
株主資本合計	1, 919, 242	1, 968, 330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,884	6, 492
繰延ヘッジ損益	_	\triangle 1
為替換算調整勘定	△176, 090	59, 526
その他の包括利益累計額合計	△187, 974	66, 016
少数株主持分	519, 519	611, 232
純資産合計	2, 250, 786	2, 645, 579
負債純資産合計	18, 319, 647	20, 184, 625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:1百)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4, 655, 387	5, 820, 015
売上原価	4, 036, 599	5, 071, 583
売上総利益	618, 787	748, 431
販売費及び一般管理費	502, 624	598, 769
営業利益	116, 162	149, 662
営業外収益	-	
受取利息	1, 352	2,049
受取配当金	102	75
助成金収入	15, 305	14, 725
為替差益	11, 608	27, 144
その他	4, 595	32, 371
営業外収益合計	32, 965	76, 366
営業外費用		
支払利息	61, 955	65, 971
支払手数料	5, 733	4, 908
その他	240	7, 548
営業外費用合計	67, 930	78, 428
経常利益	81, 197	147, 599
特別利益		
固定資産売却益	1, 354	_
特別利益合計	1, 354	_
特別損失		
固定資産除却損	0	_
貸倒引当金繰入額	798	_
特別損失合計	798	_
税金等調整前四半期純利益	81, 753	147, 599
法人税、住民税及び事業税	20, 128	37, 577
法人税等調整額	5, 885	21, 516
法人税等合計	26, 014	59, 093
少数株主損益調整前四半期純利益	55, 739	88, 506
少数株主利益	21, 923	37, 511
四半期純利益	33, 815	50, 994
□ >>1\psi \psi \psi \psi \psi \psi \psi \psi		20,001

児玉化学工業㈱(4222)平成26年3月期第1四半期決算短信

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55, 739	88, 506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13, 184	22, 358
繰延ヘッジ損益	7, 700	$\triangle 1$
為替換算調整勘定	126, 253	301, 011
持分変動差額	62, 315	<u> </u>
その他の包括利益合計	183, 085	323, 367
四半期包括利益	238, 824	411, 873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203, 250	308, 967
少数株主に係る四半期包括利益	35, 574	102, 906

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

> (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	自動車部品 事業	住宅設備 • 冷機部品 事業	エンターテイ メント事業	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2, 674, 836	1, 710, 505	114, 824	4, 500, 166	155, 220	4, 655, 387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7, 713	213, 453	272	221, 439	_	221, 439
計	2, 682, 549	1, 923, 958	115, 096	4, 721, 605	155, 220	4, 876, 826
セグメント利益	124, 897	145, 838	△6, 660	264, 075	△9, 314	254, 761

- (注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	264, 075
「その他」の区分の利益	△9, 314
セグメント間取引消去	△19, 886
のれんの償却額	_
全社費用(注)	△151, 321
未実現損益調整額	3, 448
その他の調整額	$\triangle 5,248$
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	81, 753

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	自動車部品 事業	住宅設備 • 冷機部品 事業	エンターテイ メント事業	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	3, 571, 326	1, 853, 308	212, 697	5, 637, 333	182, 682	5, 820, 015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4, 188	75, 765	_	79, 954	_	79, 954
計	3, 575, 515	1, 929, 074	212, 697	5, 717, 287	182, 682	5, 899, 969
セグメント利益	210, 241	139, 746	△5, 080	344, 906	4, 497	349, 404

- (注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	344, 906
「その他」の区分の利益	4, 497
セグメント間取引消去	$\triangle 62,898$
のれんの償却額	_
全社費用(注)	△146, 249
未実現損益調整額	3, 394
その他の調整額	3, 949
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	147, 599

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計年度にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより、量的な重要性が減少したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、 前第1四半期連結累計期間の「1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」 に記載しております。

(有形固定資産の減価償却費の変更)

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第1四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ、「自動車部品事業」で6,673千円、「住宅設備・冷機部品事業」で2,212千円増加し、セグメント損失

が、「エンターテイメント事業」で941千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。